

～ロジスティクス・プロフェッショナルへの第一歩～
第80期ロジスティクス基礎講座

物流・ロジスティクスの基礎を4日間で体系的に学ぶ

後援：経済産業省・国土交通省

東京開催

【第80期ロジスティクス基礎講座】

○開催日程：2020年10月20日（火）－21日（水）

11月11日（水）－12日（木）

○受講対象：

- 物流・ロジスティクス関連部門の新入社員、新任担当者
- 上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方

※2020年11月～12月に第82期ロジスティクス基礎講座（オンライン）の開催を予定しております。

併せてご検討ください。詳細は下記のQRコードよりご確認ください。※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

第82期ロジスティクス基礎講座（オンライン）開催日程

1日目	2020年11月5日（木）	10:00～15:30	4日目	2020年11月27日（金）	10:00～15:30
2日目	2020年11月10日（火）	10:00～15:30	5日目	2020年12月3日（木）	10:20～16:00
3日目	2020年11月17日（火）	10:00～16:00	6日目	2020年12月8日（火）	10:00～15:00



※諸事情により、内容・日時等を変更する場合がございますので、ご了承ください。

「ロジスティクス基礎講座」 受講のおすすめ

国内の物流・ロジスティクスを取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化による労働力不足、EC市場の拡大など大きく変化しています。そのような中、今般の新型コロナウイルスの感染拡大により、改めて物流・ロジスティクスの重要性が認識されることとなりました。

需要と供給の同期化による機会損失や過剰在庫の削減、物資移動の最小化といったコスト低減のみならず、企業における人、モノ、金、情報の流れの最適化を実現する戦略的マネジメントであるロジスティクスは、企業経営における重要課題として、位置付けられています。そして、全体最適に資するロジスティクスの構築とその高度化を実践するためには、経営幹部から若手社員まであらゆる業務に携わる全ての従業員がロジスティクスの目的や機能を理解したうえで、業務に取り組む必要があります。

当協会では、主に新入社員の方や新任担当者の方を対象とした「ロジスティクス基礎講座」を開講しております。本講座は、ロジスティクスの概要からオペレーションの各機能、さらには物流改善、在庫管理や物流コストまで、ロジスティクスの基本を体系的かつ効率的に学ぶカリキュラムとなっており、ロジスティクスの概念を理解し、全体最適化に向けたマネジメントに必要な基礎知識を短期間で習得することをねらいとしております。

ロジスティクスに関わる物流・調達・生産・営業部門等の新入社員や新任担当者の方、ロジスティクスの基礎について改めて学習を志す方からの積極的なご参加をお待ちしております。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
能力開発委員会
ロジスティクス基礎講座委員会 委員長
学習院大学
経済学部 経営学科 教授

河合 亜矢子



受講対象

- ◆物流・ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当者の方。
- ◆上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方。

本講座の特色

- ◆物流・ロジスティクスに関わる基礎知識を体系的に学習するための講座です。
- ◆受講者の方々に講義内容の理解を深めていただくために、課題レポートを2回提出いただきます。
- ◆2回目のレポートは講師のコメントを添えて、後日フィードバックいたします。

	提出時期	文字数	テーマ
1回目	講義開始前	600字	あなたは本講座の受講を通して、何を学びたいと思いますか。
2回目	講義終了後	800～1200字	あなたの職場における(企業における)ロジスティクスの問題点は何だと思いますか。また、その問題点について、あなたならどのような解決策を提案しますか。

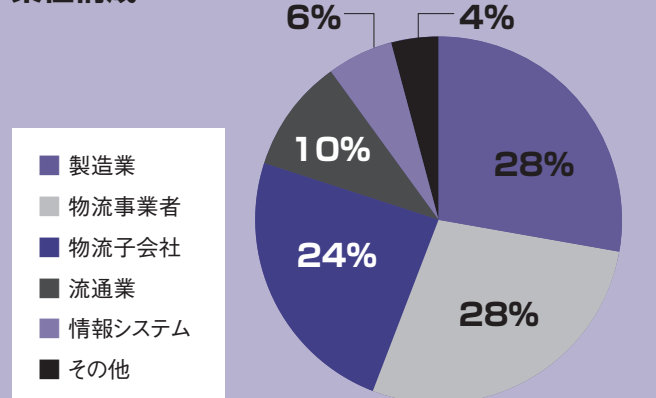
- ◆本講座を修了された方には「修了証」を授与いたします。

※修了規程：講座を全日（4日間）出席し、計2回の課題レポートを提出すること。

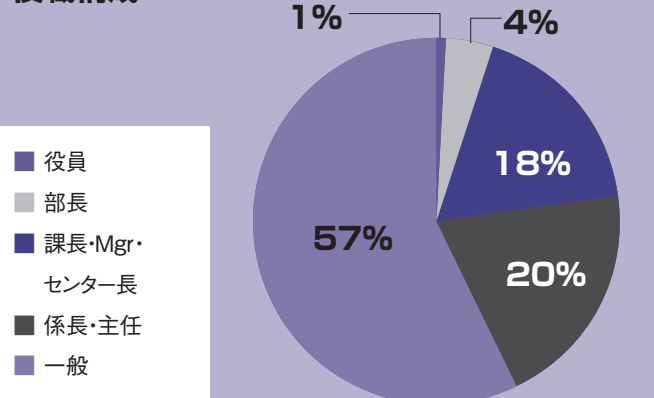
2019年度 受講者データ

【受講者数344名】

業種構成



役職構成



第80期ロジスティクス基礎講座 カリキュラム

日程・時間		講 義 内 容		講 師
10月20日 (火)	9:30~12:00	1	I. ロジスティクス概論(1) ロジスティクスの概要/ 物流・ロジスティクスを取り巻く環境/物流の機能/ 企業価値とロジスティクスの関係	魚住 和宏 氏 SCMソリューションデザイン 代表
	12:50~14:50	2	ロジスティクス概論(2) ロジスティクスにおける顧客満足/ 物流ネットワークと拠点の役割/在庫管理の考え方/ デザイン・フォー・ロジスティクスの考え方/ サードパーティロジスティクスの役割	
	15:00~17:30	3	II. ロジスティクス・オペレーションの基本機能 ①包装 包装の定義/包装の役割/包装の種類/包装の適正化/ 包装開発の基本的な流れ/包装における環境対応	北山 義弘 氏 (同)北山コンサルティング 代表
10月21日 (水)	9:30~12:00	4	②輸配送(1) 輸配送の定義/輸配送の役割/物流環境の変化と輸送/ 輸送機関の種類/各種輸送機関の特性/ 各種輸送機関の運賃料金/ 主な輸送機関の積載能力・容積の比較/ 輸配送システム構築のポイント	興村 徹 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所 副所長
	12:50~14:50	5	③輸配送(2) ユニットロードシステム/輸配送における環境対応/ 輸配送をめぐる最近の動向	
	15:00~17:30	6	④保管 保管の定義/保管の役割/物流センターの役割/ 保管の基本/庫内レイアウト設計の基本/流通加工の機能/ 保管コストの考え方	脇田 哲也 氏 東芝ロジスティクス(株) 物流改革推進部 企画担当 参与
11月11日 (水)	9:30~11:30	7	⑤荷役 荷役の定義/荷役の役割/物流センターにおける荷役作業/ マテハン機器の種類/ロケーション管理方法/ ピッキングシステムの種類/ピッキングの方式/ 最新マテハン機器の動向	矢野 哲哉 氏 サード.アイ 代表
	12:20~14:50	8	⑥情報システム 情報システムとは/情報システムの基礎技術/ 物流管理システム(LMS)の機能/ 倉庫管理システム(WMS)の機能/ 輸配送管理システム(TMS)の機能/最新ICT技術の動向	植村 邦夫 氏 (株)ユーロジプランニング 代表取締役
	15:00~18:00	9	III. 物流コスト 物流コストの定義/トータル物流コストの考え方/ 物流コスト把握の効果/物流コストの計算方法	内田 明美子 氏 (株)湯浅コンサルティング コンサルタント
11月12日 (木)	9:30~12:00	10	IV. 在庫管理 在庫管理の定義/在庫と企業価値の関係/在庫管理方式/ 在庫変動の要素/適正在庫算出の考え方/在庫適正化の方案	河合 亜矢子 氏 学習院大学 経済学部 経営学科 教授
	12:50~15:20	11	V. 物流改善 物流改善の定義/改善活動の効果/物流改善の対象領域/ 物流改善の基本的な流れ/物流改善の進め方/ 物流改善の技法と改善例	飯田 正幸 氏 JILSアドバイザー
	15:30~17:00	12	VI. ロジスティクスの課題と展望 ロジスティクスを取り巻く課題/ これからのロジスティクスの展望	田阪 幹雄 氏 (株)日通総合研究所 リサーチフェロー

※諸事情により開催日時や会場、カリキュラム等が変更になる場合があります。

受講者の声

「この講座を通して、はじめて物流について本格的に学んだが、体系的な講義構成となっており、全般的にとてもわかりやすかった。」
(物流企業・営業部・新入社員)

「物流に関する知識は広範なため、書籍による学習では理解しづらい実務面での重要ポイントを学ぶことが出来たと思う。今後の業務の中で役立てたい。」
(製造業・物流部門・新任管理者)

「実務家の講師による講義もあり、実務に即した解説は理解しやすく、説得力があった。」
(製造業・物流部門・新任担当者)

「物流に関する知識を体系的に学ぶことができ、視野が広がった。物流全体をふまえた取り組みを意識するうえで有益な講座と思う。」
(物流子会社・業務部・新任担当者)

2019年度 受講企業

※社名50音順 原則として受講時の社名を記載しています。

愛工業(株)	清田産業(株)	全日本空輸(株)	日本パレットレンタル(株)
愛知海運(株)	近畿配送サービス(株)	京北高速鉄道(株)	沼尻産業(株)
青野海運(株)	(株)クオリス	総武物流(株)	野口倉庫(株)
アサヒ飲料(株)	クマリフト(株)	第一精工(株)	パナソニック(株)
旭化成(株)	グリコ栄養食品(株)	ダイセル物流(株)	HAVIサプライチェーン・ソリューションズ・ジャパン(同)
旭食品(株)	(株)クレハ	(株)タイプソリューション	(株)ヒガシトウエンティワン
味の素(株)	(株)K.U.S.ロジスティクス・サポート	大和化成工業(株)	日立建機ロジテック(株)
味の素エンジニアリング(株)	(株)ゲオ	大和リース(株)	(株)日立ソリューションズ
(株)あらた	月桂冠(株)	(株)つばめ急便	(株)日立フーズ&ロジスティクスシステムズ
EMデバイス(株)	(株)合通	T Sネットワーク(株)	富士フイルムロジスティックス(株)
出光ユニテック(株)	(株)ゴーリキ	(株)DSP物流サービス	(株)富士ロジテックホールディングス
伊藤ハム(株)	コスモ石油マーケティング(株)	(株)TDモバイル	(株)富士ロジテック・ユニファイドサービス
(株)今仙電機製作所	コマツ	テクノUMG(株)	ブラザーインターナショナル(株)
岩谷瓦斯(株)	コマツ物流(株)	鉄道情報システム(株)	(株)フリゴ
インターナショナル・カーゴ・サービス(株)	(株)コマースロボティクス	テルモ(株)	(株)ブリヂストン
ウエストロジ・コーポレーション(株)	(株)コムアソート	(株)デンソーエスアイ	松田産業(株)
エア・ウォーター物流(株)	(株)三協	(株)東海通信資材サービス	マツダロジスティクス(株)
S T物流サービス(株)	サンコーインダストリー(株)	東芝デジタルソリューションズ(株)	(株)マルハチ村松
SBS三愛ロジ九州(株)	サントリーロジスティクス(株)	東芝テック(株)	マルハニチロ(株)
SBSフレイトサービス(株)	(株)サンリツ	東洋ガラス物流(株)	(株)水谷運輸倉庫
(株)エッグ	三和建設(株)	東洋陸運(株)	(株)ミスミ
NECフィールドینگ(株)	(株)シーネット	東レ(株)	(株)ミスミグループ本社
(株)エブソンロジスティクス	J S R(株)	トオカツフーズ(株)	三井物産(株)
(株)MHPSコントロールシステムズ	J S Rロジスティクス&カスタマーセンター(株)	トーフ流通(株)	(株) Mizkan Logitec
MS & AD インタリースク総研(株)	(株)J-オイルミルズ	トッパン・フォームズ(株)	三菱地所リアルエステートサービス(株)
エレコム(株)	ジェイティ物流(株)	(株)とみん自動車運輸	三菱商事(株)
オープンテキスト(株)	(株)シジシー・ジャパン	豊田通商(株)	三菱 UFJ リース(株)
(株)オカムラ物流	(株)シティーライン	(株)トランスロン	美濃酪農農業協同組合連合会
岡山日野自動車(株)	(株)島忠	中川運輸(株)	武蔵精密工業(株)
オープン化粧品(株)	十和運送(株)	ニチュ物流(株)	村田機械(株)
オリエンタル酵母工業(株)	(株)昭和	(株)ニチレイフーズ	(株)明治
(株)オリエンタルランド	(株)スギヨ	(株)ニチレイロジグループ本社	(株)メディアグラフィックス
オリックス・レンテック(株)	鈴与シンワ物流(株)	日触物流(株)	モルソン・クアーズ・ジャパン(株)
オリンパスロジテックス(株)	(株)スバルロジスティクス	日清オイリオグループ(株)	ヤマトパッキングサービス(株)
花王(株)	住化ロジスティクス(株)	日世(株)	ヤマハ(株)
関東西濃運輸(株)	(株)住友倉庫	ニッタ(株)	郵船ロジテック(株)
キーコーヒー(株)	住友電気工業(株)	日東グラスファイバー工業(株)	(株)陽光
九州製氷(株)	西濃シェンカー(株)	日本生活協同組合連合会	リシュモンジャパン(株)
(株)キューソーエルブラン	西部通送(株)	日本製紙物流(株)	琉球海運(株)
(株)QVCジャパン	(同)西友	日本通運(株)	(株)ロジスポ
(株)キューワ	センコーグループホールディングス(株)	日本電気(株)	(株)ワイ・ディ・シー
旭新運輸開発(株)	全国農業協同組合連合会	日本パリソン(株)	ワコール流通(株)

ロジスティクス基礎講座委員会 委員一覧

(2020年5月現在。順不同、敬称略)

委員長	河合亜矢子	学習院大学 経済学部 経営学科 教授
副委員長	脇田 哲也	東芝ロジスティクス(株) 物流改革推進部 企画担当 参与
委員	魚住 和宏	SCM ソリューションデザイン 代表
〃	福山 徹	花王(株) SCM 部門 ロジスティクスセンター 渉外担当
〃	北山 義弘	(同)北山コンサルティング 代表
〃	栄戸 哲哉	サード・アイ 代表
〃	奥山 淑英	サンコーインダストリー(株) 代表取締役社長
〃	荒木 協和	サンスター(株) 経営統括本部 理事 ロジスティクス担当
〃	飯田 正幸	JILS アドバイザー
〃	能見 宏樹	テルモ(株) SCM 推進室 企画管理グループ リーダー
〃	田阪 幹雄	(株)日通総合研究所 リサーチフェロー
〃	興村 徹	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 副所長
〃	内田明美子	(株)湯浅コンサルティング コンサルタント
〃	植村 邦夫	(株)ユーロジブランニング 代表取締役

物流技術管理士補資格認定コースのご紹介

物流技術管理士補資格認定コースでは、ロジスティクス構築による物流改善に向けた計画の立案に取り組んでいただくグループ演習をカリキュラムの中心に据えております。ロジスティクス基礎講座の受講を通じて学んだ知識の実務での活用方法を、企業事例をベースとしたグループ演習にて、実践的に習得していただくことを目的としております。

- 開催地区：東京(上期) ●新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止とさせていただきます。
- 開催地区：名古屋 ●新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止とさせていただきます。
- 開催地区：東京(下期) ●開催日程：2021年2月17日(水)～18日(木)
- 開催地区：大阪 ●開催日程：2021年3月9日(火)～10日(水) 〈受講料：69,000円+消費税／1名〉

- ◆実践的なグループディスカッション・演習を中心としたプログラムです。
- ◆様々な知識・知見・経験をもったメンバーとのグループディスカッション・演習を通して、新たな視点や取り組みのヒントを得ることができます。
- ◆「ロジスティクス基礎講座」で学んだことを整理・再確認していただくために、受講前に課題レポートをご提出いただきます。
- ◆本資格認定コースを修了^{*1}された方には、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会より「物流技術管理士補」^{*2}の資格を授与いたします。

*1 受講前に課題レポート提出および本資格認定コースへの2日間の出席が必要です。

*2 「物流技術管理士補」資格取得者を対象に、「物流技術管理士資格認定講座」および「国際物流管理士資格認定講座」の受講料を優遇させていただきます。

ロジスティクス基礎講座・物流技術管理士補資格認定コース 受講の流れ

講座名	物流技術管理士補資格認定コース	開催日数	2日間
受講対象	●産業能率大学が実施する通信教育「物流の仕事がわかるコース」および「物流技術を極めるコース」両コースの修了者 ●東京海洋大学大学院「食品流通安全管理学」講義における所定単位取得者 ●流通経済大学流通情報学部ならびに大学院物流情報学研究科における所定単位取得者 ●中央職業能力開発協会が実施するビジネスキャリア検定「ロジスティクス管理」または「ロジスティクス・オペレーション」の2級もしくは3級の合格者かつ、企業等での実務経験を有する方 ●日本ロジスティクスシステム協会が実施する「ロジスティクス基礎講座」修了者	受講料	69,000円+消費税／1名
		プログラム構成	講義／グループ演習／課題レポート

講座名	ロジスティクス基礎講座	受講料	JILS会員：80,000円+消費税／1名 JILS会員外：95,000円+消費税／1名
受講対象	●物流・ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当の方 ●上記部門以外で物流・ロジスティクスの基礎知識を身につけたい方	プログラム構成	講義／課題レポート
開催日数	4日間		

ロジスティクス基礎講座

講座の受講
(4日間)

講座の修了(※)
修了証書の授与

※修了要件
・4日間の講義出席
・課題レポート提出

物流技術管理士補資格認定コース

資格認定コースの
受講(2日間)

資格認定コース修了(※)
物流技術管理士補
資格を認定

※修了要件
・2日間の講義出席
・課題レポート提出

■申込書

申込FAX: (03) 3436-3190

申込規定

受講料

●ロジスティクス基礎講座	
公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会会員	受講料80,000円+消費税／1名
上 記 会 員 外	受講料95,000円+消費税／1名

●物流技術管理士補資格認定コース
受講料69,000円+消費税／1名
(注) 両催事ともに昼食費は含まれておりません。

定員 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

- ロジスティクス基礎講座 110名
- 物流技術管理士補資格認定コース 60名(夏開講)、60名(春開講)

申込方法

●本講座のみのお申し込みはWEBもしくはFAX、物流技術管理士補資格認定コースと併せてお申し込みをされる場合はFAXにてお申し込みください。

WEBの場合

当協会ホームページの本プログラムのページよりご確認ください。
当協会のホームページは www1.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。

【トップ】→【資格講座・セミナー】→【資格認定講座】→【ロジスティクス基礎講座】

※QRコード読み取り機能のあるスマートフォン等をお持ちの方は右記QRコードを読み込みアクセスすることもできます。

※QRコードは画面の傷、汚れ、光の反射等によって読み取れない場合があります。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



FAXの場合

- 下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。
【開催日直前のお申し込みについて】
- 開催間近のお申し込みについては、事務局へお問い合わせください。

ご注意

- テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はいたしておりません。
- 講義の撮影ならびに録音・録画は禁止させていただきます。
- 受講日の1週間前までに参加証が届かない場合は、下記までご連絡をお願いいたします。
※物流技術管理士補資格認定コースのご受講について
物流技術管理士補資格認定コースはロジスティクス基礎講座を修了後にご受講いただくこととなります。ロジスティクス基礎講座が未修了となった場合、物流技術管理士補資格認定コースをご受講いただくことができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。ご受講いただけない場合、すでにお支払いいただいた物流技術管理士補資格認定コースに関する受講料は全額返金いたします。

受講料支払い方法

- 請求書は原則として合計金額を派遣責任者の方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- 請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします。
(開催後になる場合は、参加申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。
- 【お願い】
●受講予定の方のご都合が悪い場合は、全講義を代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
(注) キャンセルはFAXでのご連絡のみ申し受けます。

【キャンセル規定】
開催7日前～前々日(開催日初日を含まず起算) ……受講料(消費税を除く)の30%
開催前日および当日 ……受講料(原則として消費税を除く)の全額

受講申込・問合せ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズベイビウム3階
TEL 03-3436-3191 FAX 03-3436-3190

講義会場のご案内

- ・ベルサール新宿グランド 東京都新宿区西新宿8-17-3 住友不動産新宿グランドタワー 1・5 階
TEL 03-3362-4792
- ・新宿住友スカイルーム 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル47 階
TEL 03-3344-6983

●【東京開催】第80期 ロジスティクス基礎講座 受講申込書 ● (物流技術管理士補資格認定コース(東京・下期)受講申込書 兼用)

フリガナ 会社・事業所名	☐ 会 員 ☐ 会 員 外	支払予定日 (開催後になる場合はご記入をお願いいたします)
フリガナ 派遣責任者	所属	月 日 支払予定
住所 〒 —	TEL: — — FAX: — — E-mail: —	物流技術管理士補資格認定コースを併せてお申し込みいただく場合は下記□欄にレ印をご記入ください
フリガナ 受講者1	所属	☐ 下期 (2月)
住所 〒 —	TEL: — — FAX: — — E-mail: —	
フリガナ 受講者2	所属	☐ 下期 (2月)
住所 〒 —	TEL: — — FAX: — — E-mail: —	
第80期ロジスティクス基礎講座 申込 名 円 ①	BA-2006	※E-mail を必ずご記入ください。 ※物流技術管理士補資格認定コースはロジスティクス基礎講座を修了後にご受講いただきます。あらかじめご了承ください。 ※請求書は原則として派遣責任者様宛となります。請求先変更のご希望等は「協会への連絡事項」欄へご記入ください。 ※物流技術管理士補資格認定コースを併せてお申し込みいただく場合は生年月日を必ずご記入ください。
物流技術管理士補資格認定コース(東京・下期) 申込 名 円 ②	BA-2011	
受講料 合計金額 (上記 ① + ②) 円		

協会への連絡事項	受付日	請求日	請求番号

個人情報のお取扱について
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。
なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。